講義名	スポーツ科学演習A(パドミントン・卓球) 授業形態			その他					
				必要に応じ,適宜配布	する。				
担当教員	西畑 賢治	開講期・曜日・時限 後期 火曜日 3 時限							
		単位数 2 履修開始年次 1年生	ナンバリング・コ ード SP0130						
主題と概要									
平均寿命の高まりとともに、健康志向が強まっている。レクリエーション・スポーツ等の多くの種目を学ぶことで、スポーツの機会に触れ、生涯スポーツとして資することを目的とし、また将来にわたって 健康に仕事る力を見につけることを目的とす。スート的にも、ルーリよし、カロト学が、自己のモア選挙できるトラム体的に行動すること。 さらにけ、生涯フォーツとして、聖力機のオペキローが楽しく					授業計画	7数・マンパー数に広じる数 〒4014 -	-例とかります		
平均寿命の高まりとともに、健康等的が指まっている。レクリエーション・スポーツ等の多くの種目を学ぶことで、スポーツの概念に転れ、生涯スポーツとして育することを目的とし、また将来にわたって 健康に定きるプラも目の付き。とも問かさき、そのためにも、ルールをしっかりとうが、自らの手できるとう主体的に行動すること。さらには、生涯スポーツとして、男文側もず字半回上が楽しく 参加できる機会をしっかいと考え、楽しさを覚えることでその種目を深く知るきっかけを作り出すことを目的とする。 本月目は、展内で動を行うものでもり、他者との意見の連いで吐むの違いを理解し、協力して物事を基めると回帰し、自らの役割を果たすの姿がある。また、実践学習、取り組むにあたり、自ら目標を設 定し、達成できるようにできるようにする。そのためには、様々な情報を収集したり、周囲と協力をしたりすることなどが求められる。そして、生じた課題に対して、その原因を分析し、どのような手段を 用いれば解決できるのかを考え、それに同けて行動でするようとする。				履修者数やグループ数・メンバー数に応じる為,下記は一例となります。 第1回 ガイダンス					
用いれば解決でき	きるのかを考え、それに向けて行動できるようにする。	にり、同盟に勝力をひたりすることなどが水のられる。 と	oc, Eoraseichoc, commento,	COS JATKE	予省内容: ジラハス を見たうえで、自分 復習内容:講義ノー	ならびにキャンパスクロスに事前に打が興味を持った内容をまとめたうえて ト整理・復習し、授業内容の理解を誘	号示する調義資料 で講義に出席すること(120 分) 深めること(120分)		
					~ パドミントン~ 第2回コート設営に必	·要な道具の準備手順及び片付け手順 /	,注意事項		
					予習内容:バドミン 復習内容:授業の中 第3回ルールと運動制	'トンの基礎知識や基本技術についてる □で学んだ内容を実践しておくこと(1 性を学び、ラケット操作に慣れる	参考になる資料を調べて予習しておくこと (1 120分)	20分)	
					予習内容:パドミン 復習内容:授業の中 第4回シングルスの制	トンのルールについて参考になる資料で学んだ内容を実践しておくこと(1 本的な技術を製得した。	料を調べて予習しておくこと(120分) 120分) 3		
					予習内容:シングル 復習内容:授業の中	スゲームの進め方について参考になる。 で学んだ内容を実践しておくこと(1	5 資料を調べて予習しておくこと(120分) 120分)		
到達目標 1.「健康」獲得の方法を修得できるようになる。					第5回シフグルスケー 予習内容:シングル 復習内容:授業の中	ムこその理当方法を理解し美成りる スゲームの運営方法について参考にな で学んだ内容を実践しておくこと(1	なる資料を調べて予習しておくこと(120分 120分)	.)	
1 · 「曜康」獲得の方法を終帯できるようになる。 2 · 歴史やルール、基礎技術を理解し、説明できるようになる。 3 · 基礎技術を修得し、生選にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。				新し回ダブルスの基本的な技術を習得しゲームにつなける ・予習内容・ダブルスの基本的な技術について参考になる資料を調べて予習しておくこと(120分) (複習内容・授業の中で学んだ内容を実践しておくこと(120分)					
				- バドミントンー 第 2回コー 比智に必要な道具の準備手順及び片付け手順。注意専項 ・					
				第8日中間講義					
					第5回 中間議義 ・ 芸門内字: 実技を通じて学んだパドミントンの内容をよく理解しておくこと(120分) 復国内容: 後半実施する卓球について調べておくこと(120分)				
				- 高球 第9回 コート設定に必要な道具の準備手順及び片付け手順。注意専項					
					復留内容: 授業の4 第10回 ルールと運動: 予習内容: 卓球のル	「ピチルに内谷を美践しておくこと() 特性を学び、ラケット操作に慣れる ・ールについて参考になる資料を調べて	1 2 0 分) で予習しておくこと(1 2 0 分)		
是出課題	環筋の担 中本 サルス				復習内容:授業の中 第11回 シングルスの 予習内容・シングリ	「で学んだ内容を実践しておくこと(1 基本的な技術を習得しゲームにつなげ ・スゲームの進め方について参考になる	120分) る S資料を調べて予盟しておくこと(120分)		
必要な場合のみ,課題の提出を求める。					ア自外谷: シングルペクームの連の方にプロに参与による男件を調べてア省ロしてのくこと(「20分) 復国内名: 推奨の中で学ん内容を実践しておくこと(120分) 第12回 シングルスゲームとその運営方法を理解し実践する				
				・					
				・					
				予督内容: ダブルスゲームの運営方法について参考になる資料を調べて予習しておくこと(120分) 復替内容: 授業の中で学んだ内容を実践しておくこと(120分)					
					第15回 最終講義 予習内容: バドミン 復習内容: パドミン	・トン、卓球の実技を通じて学んだ内容・トン、卓球について今後プレー出来る	容をよく理解しておくこと(120分) るようにすること(120分)		
田郎 / L ユジ - L	E. 1. = 2.1 (*) 1. = 2.2 (*) 1. = 2.2 (*)								
果題 (レポートや小テスト等) に対するフィードパックの方法 それぞれの課題に対して、講義で講評・解説等を行う。				授業形態(アクテ・					
						順解決型学習) ッション、ディベート			イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) エ:グループワーク
					オ: ブレゼン				カ:実習、フィールドワーク
				キ:その他(A L型であるけども、以上の項目のい	ずれにも該当しない場合)			
				卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
					・ 本部のと、子位以下のグリリにコの対象を持ちいた。 本科目を受講し、目標を振りることで、本学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき複質・能力の5項目および、健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。 本学品の日ファイーの学者と、取り組分力で、本学の学生が不要時に共通して身につけておくべき複数・能力の5項目および、健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。				
(個の基準 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					本科目も受講し、目標を重的することで、本学の学生が発達時に共通して発につけておくべき管理・能力の 5項目かよび、健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。 電影中個人でスポーツ変換、対しませいで、対しませいで、対しませいでは、大きないではないではないではないでは、大きないでは、大きないではないでは、これでは、これでは、大きないでは、これでは、これではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない				
授業実施時間数の4回以上欠席した者は単位を認定しない。 授業中の評価・授業態度、実技点など・・・・・・・・80% 脚末限の評価・ジボード機関・・・・・・・・・20%					生涯にわたって人が- 以上は,全学部・学科	-ツと関わったり,健康の維持・増進に 中の所属学生へ共通している。	に劣のにリすることかでさるよつな知識を得て	. , 埋解	9 ることが Cさる。
優修にあたっての注意・助言他					加土台版举《古茶》	7.1810T @ \f Bl= 88-+ 7.47\#			
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	修する学生は必ず参加してください			双方 回授業の実施/	及びICTの活用に関する記述			
また,スポーツが	が苦手な者も楽しんで講義に参加し、体力の維持向上に関心を持っ	って頂きたい。							
				実務経験の有無及で	(注田				
				大奶油4000円無人	7/11/10				
教科書									
.使用しない.									
					備考				
参考図書 .使用しない.									
. KM 0/441.		+	-]				
		+]				
		1							